

春日市議会 総務文教委員会

行政視察

期 日：平成26年11月13日～14日（1泊2日）

視 察 先：佐賀県伊万里市「図書館事業について」

長崎県佐世保市「徳育の推進について」

視察行程：別紙参照

1. 佐賀県伊万里市「図書館事業について」

現在の伊万里市市民図書館は平成7年7月7日に開館している。述床面積4,374㎡は地方都市の図書館としては非常に大規模なものと言える。特徴的なのは、この新図書館建設の際市内の多くの図書館に関わる方々の意見を設計の中に取り入れている点である。これを機会に、それまで「市立図書館」であったものを「市民図書館」と名称の変更まで



行っている。実は伊万里市の図書館が日本の中でもとくに有名な点が、正にこの市民を巻き込んでの図書館運営の在り様である。年会費を支払ってまでも図書館の為に働こうとされる「伊万里図書館フレンズ」が現在400名以上存在し、これらの方々が図書館の賑わい創出の為に年に数度「ぜんざいをふるまう」であるとか「古本を売る」と言った行事を企画し、その収益を図書館運営に役立ててもらおうと言う活動まで行っておられる。市に関わる団体の場合、全国的にその多くは市から補助金等と言った形で運営に関してのサポートを受け、それを原資にして活動を行う事が極めて多いと言うよりも通常であるが、この伊万里市の図書館フレンズについては補助を受けるところか、図書館に補助を行う団体として成立している。この点は特筆すべき点である。こういった数多くのサポートを受けながら市から年間1800万円程度の予算^{*1}を受け図書館の運営を行っている。

図書館の事業として現在力を入れているのは「家読（うちどく）」運動であると言う。子ども達に少しの時間でも読書に親しんでもらいたいとの思いから、現在では各家庭にも協力をして貰って「1日に数分でもいいのでテレビを消し



て本について語り合う時間」を設けて貰う運動を推進している。

加えてこれも大変な注目を集めているのがレファレンスデスクの拡大活用である。「市民の方のための調べものデスク」として、今後の図書館に最も求められる機能を充実させるために、ここに力を入れ、実際にこのデスクを活用した市民の方の起業例等もいくつも挙げられていた。この評判

が評判を呼びレファレンスデスクは現在市民にとって大変貴重な存在になっていると言う。

伊万里市の図書館内部を見学させて頂いて何よりも感じるのは、その館内の圧倒的な解放感である。当然、冒頭にも言ったように豊富な土地がある故ではあろうが延床面積としての絶対的な広さはある。しかしそれ以上に、館内での一定スペースでの飲食等を開放していたりする姿は普段厳格な図書館運営を見慣れている物からすれば斬新である。また、館内の至る所で将棋やチェス、囲碁に興じる方々がいる姿も目を引く。「図書館＝本を読むところ」ではなく「図書館＝人が集う場所」と言うコンセプトが至る所に散在している。とは言え、では読書空間としての機能が低いかと言えば一見してそうではない。数多くの企画コーナーにおいては図書館の職員さん達による様々なポップを多用した本の陳列が幾つも見られた。そのテーマや種類も豊富であり図書館の初心者であっても十分にひきつけられる工夫が施してある。図書館の職員にしてみれば非常に大きな作業量ではあろうが、しっ

かりと市民に「本に親しんでもらう」為の努力は欠かさずにしてある。またカンファレンスコーナーについても伊万里市独特の工夫がみられる。通常こういったコーナーは貸本カウンターの近辺に設けられることが多い。これは即ち図書館員の動線の問題でもあるのだが、伊万里市ではこれを貸本のカウンターとは極めて遠い場所に設置して



あった。これはそのカウンター近くに設置をすれば、カンファレンスの職員がつい貸本事業に係る事を防ぐためだと言う。徹底的に専門性を持たせることでコーナーの特殊性を増し、市民の中でも専門的な知識欲に応じられる努力をさ

れている点は大いに見習うべきであろう。実際にこのコーナーで調べ物をされた方が特許を取得されるという事案も過去にあっており、その評判がさらに信用性を高めている。館内の広さと言うハードの面について補足すれば、館内に幼児用のトイレを設置する等と言った配慮が随所に見られる点も他には無い点である。伊万里の郷土史のコーナーと言った極めて固い分類からヤングアダルトコーナーの充実も非常にバランスが良い。加えて言うのであれば図書自体が非常に丁寧に扱われている印象も受けた。図書館サポーターの育成から様々なイベントの運営の相乗効果。加えて、職員自体が本と何よりも図書館に愛着を感じている様が手に取るように伝わる、そんな空間であった。学ぶべきものが非常に多い、大変貴重な施設を拝見させて頂けた。

※１・・・伊万里市の職員曰くこの金額は下限一杯であると言う。図書館の予算としては

(人口×0.5×2500円)が適正な数字であるらしい。その意味で言えば、春日市の図書館の予算は若干低めと言う事になる。



開放的な図書館長室



充実したカンファレンスコーナー

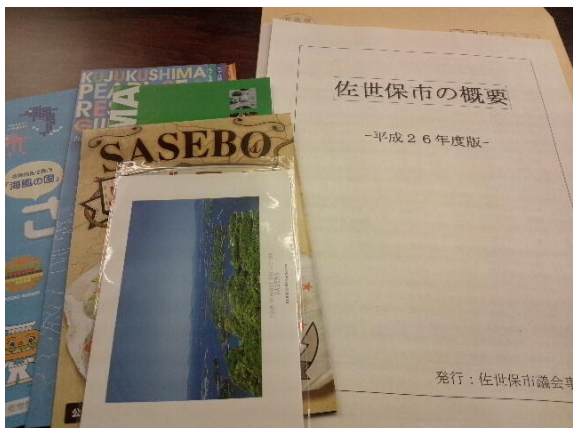


常備されたチェス盤



読み聞かせコーナーのプラネタリウム

2. 長崎県佐世保市「徳育の推進について」



佐世保市では徳育の推進にあたり、市民に対して「社会全体で徳育の推進に取り組む事で、一人ひとりが豊かな心を持ち、互いに絆を深めあい、明るくなるまちになることを願い、平成24年4月1日に開催された佐世保市制110周年記念式典に於いて「徳育推進のまちづくり宣言」を行いました。徳育を推進していくためには、子どもから大人まで全ての市民の皆様が、自

らの問題として認識していただき、また行動して行く事が重要だと考えられます。そこで、推進の第一歩として、家庭、学校、地域、職場などで、いつでもどこでも、誰でもできる目標を設定し、実践していこうと言う「一徳運動」への取り組みを是非ともお願いします。市民の皆様には、この宣言の趣旨を御理解頂きまして、是非とも身近なところから、取り組んでいただきますよう心からお願い申し上げます。」と訴えかけ「徳育推進のまちづくり宣言」を行っている。

佐世保市においては「徳育」とは、「道徳心のある情操豊かな人間性を養うための教育」であり「社会や共同体において、秩序を保つために自然なところある行動を促す教育」であるとしている。これで育まれるのが道徳心、即ち「道徳を守り、行為しようとする心の働き、善悪聖邪を判断して、善や正に従って行為しようとする心」だと位置付けている。その上で「徳育」とは「規範意識、生命の尊重、他社への思いやりを培うと共に法やルールを遵守し、適切に行動できる人間を育成する事」を目的としている。

この考え方の上に立ち、市内の社会教育、学校、地域、企業の関係団体に所属されている方々を中心に「佐世保市徳育推進会議」を設立し、具体的に様々な活動を行っている。その中で「一徳運動」※²を大きな柱として位置づけ各地でその取り組みを行っている。各地域で様々なスローガンを掲げ現在具体的な運動を始めたところであるようだ。この際、非常に目につくのは企業の活動への参加である。こういった活動を行う際に、市からの補助が行われる団体までを巻き込む話は往々にして見られるが、個別の企業がその運動に参加する事は非常に珍しい。その意味においては正に掛け声だけではなく草の根レベルの活動になっている点は高く評価すべきであろう。

しかし、大変厳しい見方をすれば、この極めて曖昧な概念であるところの「徳育」の推進と言う部分において運動自体に若干具体性が欠ける印象は拭えない。多様化する価値観や、個人の権利のみが優先される膨らみ過ぎた個人主義社会は「徳」等と言う言葉とある意味対極にあるのかも知れない。その意味においてこれを推進するにしても概念的なフレーズや運動しか展開できないと言う縛りが現実的にあるのではないだろうか。具体的な運動のキャッチフレーズを見てもその殆どが徳育推進と言うよりも「挨拶運動」※³であるように思われる点は逆を言えば、その程度しか仕様が無い現実を映し出していると言えなくもない。またその意味で言っても、こういった活動は成果が目に見えるように如実に表れるものでもない。「挨拶が出来るようになった＝徳が付いた」とは決してならないであろう。



人間の内面的な部分、それも外部環境によってその価値観が随分と左右される話である以上これは致し方のない事である。であるが故にこの手の活動は掛け声倒れになる事が往々にしてある感は否めないが、その点佐世保市では現状において手探りではあっても、その活動の裾野を広げている点は十分に評価できる。「当たり前のことを当たり前に行く事」であったり、それを行う大人を見てそれが当たり前の事だと思える事がこういった活動の終着点であるのならば、成果が出るのは随分と先の話になろう。現状においては答の見えない、その意味では歯がゆい運動ではあろうが、それ以上にモラルハザードが全社会的に進行していくのが現代社会の実情であるのならば、この手の、正に「砂漠に水をやる」様な行動こそが実は何よりもその意識改革の第一歩と言う意味でも必要であるのかも知れない。大変ユニークで、しかし重要な取り組みを拝見させて頂いた。心から感謝申し上げます。

※2・・・これを実践するためのポイントとして「校訓や職場の経営方針にちなんだ具体的で解り易い一徳とすること」「実態に応じた一徳とする事」「日常生活でできる一徳とする事」「地域では幼児から高齢者まで実践可能な一徳とする事」「お金のかからない一徳とすること」としている。

※3・・・学校やPTAが掲げるスローガンの殆どが「元気におはよう運動」であったりする感是否めない。しかし中には清掃活動の充実や食育の推進、また親の職場見学と言った違った観点から徳育にアプローチしている事例も見られる。

【総括として】

以前から公立図書館の運営に関心のある私にすれば、今回の伊万里市の図書館視察は非常に有難いものであった。現在の様に公立図書館の本来持つべき存在価値やその為に工夫されるべき様々な運営手法が容認される随分以前の、それこそ20年前からこの手の図書館運営を目指された先見性には心から頭の下がる思いである。運営面のストは勿論であるが、よくぞ20年前にこれほどの思い切った設計が出来たものである。子どものための読み聞かせのコーナーの天井にプラネタリウムを模した設備が完備してある。公立の図書館にしては極めて斬新な設計であろう。現在の図書館事情を考えれば唯々羨ましく、のどから手が出る程に欲しい設備であると思われる。ただ、間違いなく今でもそうだしその当時であれば尚更、これを設計の段階で例えば議会に示された際に対応はどうであろうか。我ながらたいへん情けない話であるが「無駄な設備」であるとして私でも反対しそうな気がする。加えて言うのであれば「静かに本を読む場所」であるとの教育しか受けてきていない私たちにすれば、その空間内でイベントを行い、飲食をさせる等と言う行為に反発をしてしまうであろう。ある意味そういった固定概念からの脱却こそが今後の図書館に求められる姿であるのかも知れない。伊万里市の「図書館サポーター」は間違いなく日本において先進的でかつ優良な姿であって、これを見よう見まねですぐに実践できるものでもない。しかし、先日わが市で開催された「夜の図書館」事業において、これに参加してくださったサポーターの皆さんの図書館に対する熱い思いや行動力を思えば、もう一つ踏み込んだ仕掛けさえあれば当市でもあれ以上とは言わないまでも肩を並べ得る応援団が出来るのではないだろうか。ある意味、本来の図書館の仕事ではない事に図書館が踏み込んだ際に初めて、今後何よりも市民に求められる図書館像が完成に近づいていくのかも知れない。建物のハードな部分においては如何ともし難い部分があるのは事実だ。しかし、図書館を取り巻く市民の「本」や「読書」に対する情熱では何も負けてはいない。間違いなく完成された、理想の様な図書館運営の姿であり、未来の図書館の姿でもあった。「負けてはいられない」そんな思いを強くさせて頂いた。



佐世保市の徳育を考える際に、どうしても数年前に置きた少年の痛ましい事

件が頭をよぎる。そしてそういった取り組みを行っている最中の今年にもまた、正に悲惨としか言いようのないむごたらしい事件も起きている。こういった取り組みの先頭に立ってこられた方々の心中を思えば忸怩たる思いであろう。ただ、であるからと言って決してこういった取り組みが全く無駄であったとか効果が無いと言う結論を求めようとするのは早計に過ぎるし、むしろそう言った安直な思想こそ道德教育から最も遠い理念であるのかも知れない。いつの時代であってもしはみ出し者はいて犯罪は常に起きている。これを社会の所為にすべきではない。あくまでもこれは個別の案件である。しかし一方で社会が行き過ぎた個人主義や現実主義の進行で無味乾燥した心寂しい時代へ移行している事もある程度事実である。経済と言うある意味数字で割り切れる価値観が人間生活において大部分を占める事も致し方ない。であるからこそ、先程の文章の中では若干否定的に論じたが、たかが「挨拶運動」の様な、それこそ当たり前の事を今一度重要な事であると認識して、草の根からの活動を根気強く続けて行く事はむしろ必要なのかもしれない。逆に言えば、そういった当たり前のことが当たり前ではない時代に突入してきているのかも知れない。その意味では、この活動こそ現代社会に対する大いなる警鐘として認識する必要があるのではないだろうか。理念的であるが故に、其々目指すべき終着点も違うかもしれない。ゴールの無い事業ほど行政が行う事が難しい事も無い。それこそ数値で評価されることが無いのであるから。しかし、その意識が定着すればやはりどこかそれまでとは違った社会の実現が待っているのかも知れない。これはそう信じて進んで行って頂きたいと願うのみである。大変お忙しい中御教授を下された両市の関係者の皆様に心から感謝を申し上げる。

視察行程

平成26年度 総務文教委員会行政視察行程

平成26年10月31日現在

【視察地】

佐賀県 伊万里市 〒848-8501 伊万里市立花町1355-1 0955-23-2594 (直) 担当/水野氏
長崎県 佐世保市 〒857-8585 佐世保市八幡町1-10 0956-25-9604 (直) 担当/中川氏

【行程表】

月日(曜)	行 程	宿 泊 地 他
11月13日 (木)	午前9時00分：春日駅集合 みどり5号 松浦鉄道 昼食 春日 ===== 二日市 ===== 有田 ===== 伊万里 9:11⇒9:21着 9:44⇒10:57着 11:02⇒11:26着 … 伊万里市民図書館 ◎ 佐賀県伊万里市行政視察 [午後1:00~2:30] 「図書館事業について」 松浦鉄道西九州線 JR佐世保線 徒歩 伊万里 ===== 有田 ===== 佐世保 … ホテル着 15:04⇒15:30着 15:45⇒16:14着	担当者/水野様 Tel (0955) 23-2594 昼食/伊万里駅周辺 夕食/佐世保市内 宿泊先 佐世保フシントンホテル Tel (0956) 32-8011
11月14日 (金)	午前9時30分：ホテルロビー集合・出発 徒歩 西肥バス ホテル発 … 佐世保駅前 +++++ 佐世保市役所前 9:42⇒9:50着 ◎ 長崎県佐世保市行政視察 [午前10:00~11:30] 「徳育の推進について」 昼食 みどり18号 佐世保 ===== 二日市 ===== 春日 13:44⇒15:22着 15:32⇒15:43着	担当者/中川様 Tel (0956) 25-9604 昼食/佐世保駅周辺 春日駅着 15:43 (予定)

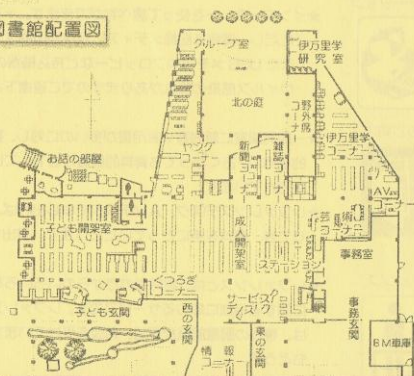
集会室



図書館の利用に障害のある方に



市民図書館配置図



伊万里市民図書館

伊万里市立花町4110番地1

電話0955-23-4646 FAX0955-22-3291 IP:050-3541-3518 (OCN)
URL: http://www.librarycity.iwamizaki.jp E-Mail: librarycity.iwamizaki.jp

★市民のみなさんの広場です。展示コーナー、会議室、ホールなどは事前にお申込みください。政治や宗教活動および営利を目的とした活動には利用できません。

*機器をご使用になる場合は、事前に担当者にご相談ください。

★一般の本をそのままでは読めない方のために、大きな活字の本、拡大写本、点字絵本、ブックテープ、拡大鏡などを用意しています。

★朗読サービス室では、ご希望の本を直接お読みします。ご利用の方は事前にお申込みください。

火曜日 午後1時から午後3時

土曜日 午後3時から午後4時（幼児、小学生対象）

伊万里をつくり市民とともにそだつ市民の図書館

図書館の利用案内

知的好奇心にあふれた市民がたくさん育った時、地域は変わるといいます。あなたの図書館で、心豊かな時間を過ごし、充実した人生を見つけてください。

開館時間



★火～日曜日 午前10時～午後6時
（祝日開館日を含む）

★金曜日 午前10時～午後8時
*エントランス・展示コーナー・集会室などは、午前10時から利用できます。
*玄関横のくつろぎコーナーは、福祉の喫茶「あおぞら」です。軽食のご注文ができます。

休館日



★毎週月曜日
★国民の祝日（ただし、昭和の日・こどもの日・文化の日・建国記念の日・春分の日が開館します。）
★年末年始（12月28日～1月3日）
★館内整理日（毎月第4木曜日）
★特別整理休館日（年10日以内、その都度お知らせします。）

利用できる人



★伊万里市内に住んでいる方、通勤、通学、通園している方。
★有田町、福島町に住んでいる方。
★年齢の制限はありません。
★利用はすべて無料です。

本を借りるときは



★本を借りるときは利用カードが必要です。

自動車図書館「ぶっくん」、黒川公民館図書室、松浦公民館図書室でも共通に使えます。

★利用カードを紛失された場合は再発行できます。（有料）

★本、雑誌は1人何冊でも、15日以内。

★CD、カセットは3点、ビデオ、DVDは2点、15日以内。

★絵画は1点、30日以内。

★利用の延長は、次の予約がなかったらできます。延長は1回まで。貸出期間内であれば電話でも延長できます。

★資料を紛失、汚損、破損された時は、弁償をしていただく場合があります。

★お気軽に図書館員にお尋ねください。

★インターネットを通じて、図書館にあるかなにか、ご自分で調べることができます。携帯電話でも可能です。

★貸出中の資料は予約が出来ます。

所蔵していない本もリクエストしていただければ、購入、県立や他市の図書館から借りるなどして、できるだけご希望にお応えします。（リクエストは伊万里市在住の方に限ります）

読みたい本が見つからないとき



本を返すとき



★本館でも、自動車図書館「ぶっくん」、黒川公民館図書室、松浦公民館図書室、市内各町公民館でも返せます。

★図書館が開まっているときは、ブックポストに入れてください。ブックポストは駐車場側と子ども玄関入口にあります。（CD、カセット、ビデオ、DVDはポストに返却できません。直接、サービスデスクにお返しください。）

子どものコーナー



★0歳から利用カードを作ることができます。絵本や物語、知識の本などたくさんのお本があります。

★登り窯の形をしたおはなしの部屋へどうぞ。

*お話し会 毎週土曜日 午後2時30分から

*おはなしO、1、2 毎週木曜日 午前11時からと11時30分から（第4木曜日はお休みです）

ヤングのコーナー



伊万里学のコーナー



ITステーション



書庫のご案内



レファレンス



コピーもできます

★中学生や高校生など十代の人のためのコーナーです。

★文学、音楽など若者に人気のある本を集めました。

★メッセージボードを置きました。言いたいこと、伝えたいことを書きましょう。

★予約をいただければ、学校の調べ学習にも利用できます。

★その土地に文化が育つかどうかは、ふるさとを温かくみつめ、ふるさとがもつ可能性を伸ばそうと努める人が、そこにいるかどうかで決まるといわれます。そのためには、何よりもふるさととの歴史を学び、先人の知恵に新たな価値を見出す学習が大切だろうというのが、伊万里学のおこりです。ここから、新しいまちづくりの風をおこしてください。

★インターネットを使って調べ物ができます。*要予約（ただし、情報を記録メディアに保存や印刷はできません。またUSBメモリやフロッピーなど持込機器の接続は、ウイルス感染の恐れがありますのでご遠慮下さい）

★一般開架室に新刊書や実用書が多いのに対し、書庫には専門的な本や、古くとも資料的価値が低下していない本が収められています。

★レファレンスデスク、AVデスクで申し出れば、自由に出入りでき、資料を手にとっていただけます。貸出もします。

★レファレンスとは、利用者の方からのいろいろな質問や資料に関する相談に答えるサービスです。レファレンスデスクでは、専門の図書館員が質問、相談を受けています。お電話でもどうぞ。

★図書館の資料に限り、著作権法の範囲内でコピーができます。（有料）

「図書館フレンズいまり」(図書館支援市民活動団体) 資料 2014年5月10日(土)

- 1 会員数 405名(H26.5 現在) 年会費 1,000円
- 2 組織 代表 1人、副代表 2人、会計 2人、監事 2人、役員 18人、顧問 3人
- 3 目的 図書館の活動に協力し、提言することにより、伊万里市民図書館が市民のための図書館であり続けるよう、守り育てることを目的とする。

♥合意言葉は「協力と提言」 ♥入会資格は図書館を愛する人

- 4 活動内容 (役員会……毎月第2水曜日定例会)

- ① 講演会などの企画・実施
- ② 図書館の支援、及び協議、提言
- ③ 図書館ボランティア活動の支援
- ④ 広報・PR活動
- ⑤ 他の図書館友の会との連携
- ⑥ その他

- 5 上記の活動を具体化するために、下記の委員会を中心に取り組む。

- ① フレンズコーナー委員会(6名): 図書館紹介資料・図書館バッグ・古本・手作りグッズの販売
- ② インフォメーション委員会(4名): 図書館視察者への対応・講演、広報、学習会等の企画
- ③ 美化委員会(5名): 公開書庫の整理・季節の花苗手入れ・その他環境整備
- ④ 広報委員会(5名): 会報「いすの木」発行(年4回)
- ⑤ イベント委員会(5名) 古本市2名と俳句、かるた会、めばえの日の代表各1名

- 6 平成26年度の主な活動計画

- 5月・・・総会、古本市(こどもの日)、
- 6月・・・「いすの木」発行
- 7月・・・☆(ほし)まつり(俳句まつり・古本市)
- 10月・・・「いすの木」発行
- 11月・・・古本市(文化の日)、
- 1月・・・新春かるた会 ◇参加者 約50人
- 2月・・・めばえの日(ぜんざい会・古本市) 起工式を記念して ◇ぜんざい300人分用意
- 3月・・・「いすの木」発行

図書館ボランティア
(図書館の強力な支援団体)

- ・おはなしキャラバン
- ・てんとう虫の家
- ・いすの木合唱団
- ・草ひばり など12団体

- 7 第19回図書館☆(ほし)まつり について(新館開館を記念し参加24団体で実行委員会組織)

- ① 期 日 2014年7月5日(土)、6日(日) 10:00~16:00
- ② 場 所 伊万里市民図書館内及び敷地内 ◇参加者2日間 約4,000人
- ③ テーマ 「みんなで育てて19才」・・・商店街とのスタンプラリーも開催
- ④ イベント内容

音楽部会

(伊万里少年
少女合唱団
など7団体)



展示部会

(フレンズ:俳句
など4団体)



販売部会

(山のサナーレ
クリニック
など8団体)



催し部会

(草ひばり:
読み聞かせ
6団体)



伊万里市民図書館の概要

平成25年4月現在

◎建設時の目標「伊万里をつくり・市民とともに育つ・市民の図書館」

1. 開館 平成7年7月7日（旧市立図書館 昭和29年4月）
2. 所在地 佐賀県伊万里市立花町4110番地1
Tel0955(23)4646 FAX0955(22)3231
3. 施設概要
敷地面積 7,692.14 m² 建築面積 4,053.96 m²
延床面積 4,374.51 m²
（内訳 1階 3,074.63 2階 552.35 3階 367.96 4階 379.57）
構造 鉄筋コンクリート（一部鉄骨）平屋建、一部4階
4. 工事概要
〈工事〉平成6年2月26日～平成7年3月20日（13ヶ月間）
〈設計〉山手総合計画研究所 → 現在【株】寺田 大塚 小林 計画同人
総事業費 23億6,480万円（設計費含む）
〈内訳〉・建設費 1,912,092千円（内家具工事費136,990千円）
・用地費 257,191千円 ・資料費等 135,517千円
〈財源〉・地方債 1,661,700千円（まちづくり交付金70%補填）
・積立金 650,000千円 ・一般財源 53,100千円
5. 職員体制
平成26年度現在 18名体制
職員6名（司書4名）嘱託司書8名 臨時4名（パート2名）
6. 開館時間
・火～日曜日 10時～18時 ・金曜日 10時～20時
・休館日 月曜、第4木曜日、特別整理10日間（蔵書点検）
祝日開館（昭和、子供、文化、建国記念、春分の日等）
7. 新世紀の図書館を目指して
（1）自由で公平な情報を提供し、市民の知的自由をまもる図書館
（2）将来の伊万里をつくる子どもたちに夢をそだてていく図書館
（3）本のある出会いの広場、文化を育むオアシスとしての図書館
（4）全ての市民に開かれた市民のライフスタイルを高める図書館
8. 蔵書収容能力（現在蔵書点数：38万点）
47万冊（1階開架室・大人12万冊、YA8千冊・子供3万9千冊）
1階開架17万冊、2階開架書庫10万冊、3階閉架書庫20万冊
9. 図書館システム
〈書誌情報〉 TRC マーク
〈システム〉富士通アイリス・フィエラ・2012年10月更新
10. 予算関係
〈当初予算〉25年度 1億12百万円 〈資料費〉1千8百万円

●過去6年間の利用実績(伊万里市民図書館)

(作成:平成26年4月1日現在)

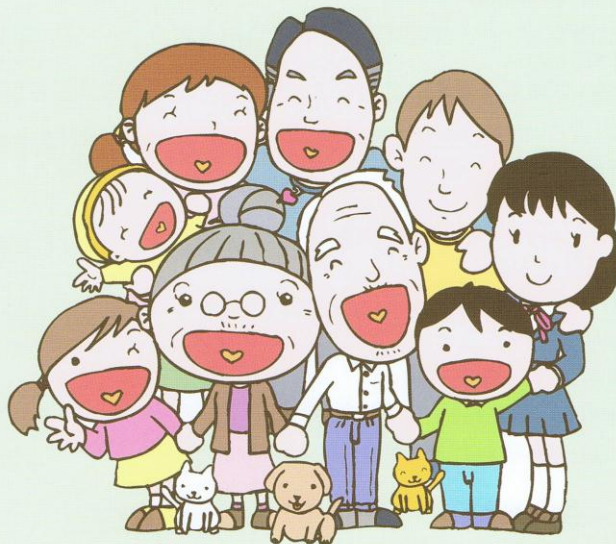
項 目	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
登録者	46,589人	47,891人	48,988人	36,742人	37,776人	38,799人
登録率	79.90%	82.50%	84.80%	63.96%	65.83%	67.95%
開館日数	286日	286日	288日	286日	282日	288日
貸出利用人数	103,342人	102,224人	100,202人	95,434人	98,032人	108,277人
年間貸出点数	527,229点	524,722点	516,552点	507,596点	515,161点	509,641点
1日当り貸出点数	1,832.97	1,834.69	1,793.58	1,774.81	1,826.81	1,769.59
(市民一人当り)	9.04点	9.03点	8.92点	8.82点	8.98点	8.93点
予約・リクエスト	8,822件	7,517件	8,063件	8,252件	9,019件	9,780件
レファレンス	2,716件	2,904件	3,158件	1,069件	424件	635件
図書館主催 集会活動	177回 4,567人	211回 5,412人	222回 4,716人	190回 3,655人	147回 3,709人	142回 3,545人
土曜お話し会	46回 1,434人	49回 1,401人	50回 1,450人	49回 1,400人	46回 1,265人	45回 1,317人
O12お話し会	78回 1,746人	82回 1,588人	82回 1,874人	41回 1,312人	39回 1,367人	42回 1,402人
ブックスタート	12回 524人	12回 547人	12回 585人	12回 562人	12回 547人	12回 548人
子ども上映会	10回 216人	11回 172人	10回 177人	8回 96人	11回 115人	11回 130人
名画上映会	14回 89人	18回 503人	10回 98人	8回 131人	8回 123人	8回 123人
企画展示(ホール)	37回 339日	24回 194日	31回 224日	29回 203日	30回 263日	35回 339日 16,950人
市民主催 集会活動	754回 10,498人	763回 11,084人	821回 9,587人	713回 9,202人	517回 9,191人	545回 8,947人
小学校・保育園 来館	48回 2,316人	46回 2,198人	45回 1,329人	32回 921人	57回 1,211人	77回 1,357人
ぶっくんで のお話し会	509回	492回	503回	499回	446回	505回
視察人数	366人	284人	256人	365人	315人	137団体 900人
※23年度登録者の見直しによる減少(異動処理)					3月末人口57,096人	

徳育推進のための行動計画

～こころ豊かな市民を目指して～

平成24年2月

佐世保市



徳育

佐世保徳育推進会議

創刊号



発行日 平成 26 年 3 月 20 日
 発行 佐世保徳育推進会議（佐世保市教育会内）
 住所 栄町4番11号サンクル1番館F2
 TEL/FAX (0956) 23-2856
 E-mail sasebotokuiku@alpha.ocn.ne.jp

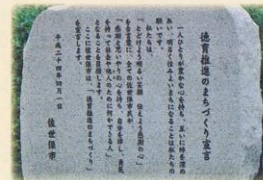
発行に あたって

戦後、復興を成し遂げたわが国は物質的に恵まれ、価値観の多様化と個性が尊重される社会を築いてきました。しかし、その一方で個人を重視するあまり、家庭や地域といった共同体の教育力が低下したともいわれています。

生命を尊重する心や他者への配慮、思いやりといった道徳心は、生まれながらに備わっているものではなく、大人が子どもをしつけ、教育することによって育まれます。今日、こうした道徳心を芽生えさせ、育てていくための教育、すなわち徳育の必要性は高まるばかりです。もちろん徳育は、子どもに対するものだけではなく、教育者として

の役割を果たすべき大人の徳育も重要です。そのため佐世保市では、大人も子どもも市民一人ひとりが助け合いの精神を持ち、安心して住みよいまちを築いていくため、徳育推進を目標に掲げています。

そこで佐世保徳育推進会議では、これから徳育が市民の皆様に着実に定着していくステップとして、この機関紙を発行することといたしました。



市役所正面に建つ「徳育推進のまちづくり宣言」の碑



わが家の一徳運動

佐世保市立日野小学校PTA会長
山口 貴之

わが家は、夫婦、小学校6年生の長女、幼稚園児の次女の4人家族（プラス子犬）です。早寝早起き朝ご飯を大切にしていますが、人間すぐに怠け癖が出てしまい、忘れそうになるのが「おやすみ、おはよう、いただきます」の声かけです。そんな挨拶の定着化に一役買ってくれるのが4歳の次女です。幼稚園での日課である「手を合わせてください！ハイ！いただきます！お当番さんも召し上がれ！」の号令で毎日の食事が始まります。些細なことを忘れずに毎日の生活に活かしていきたい我が家のブチ一徳運動です。



山口様家族

わが校の一徳運動

佐世保市立船越小学校

九十九島の景観に面した船越小学校を訪ねると、元気なあいさつで子どもたちが出迎えてくれました。全校児童108名が学習発表会などを開催すると、保護者のみならず地域の皆さんも含めて150名以上が集うという「地域の教育力」に恵まれた同校ですが、一徳運動として、①あいさい運動、②返事、③くつならべに取り組んでいます。あいさい運動とは、あいさつはじぶんからさやかにいつでもどこでもだれにでも頭文字ですが、児童会の意見も取り入れて作られており、子どもたち自らが積極的に推進しています。

前田肇伸校長先生のお話では、「くつならべは上手にできているが、返事はもう少しです」とのことでした。目標高く徳育に取り組んでいる船越小でした。（談）



学習発表会で合唱する全校児童

わが社の一徳

有限会社ダイワ工芸 小山 敦也

わが社の仕事は、街の「看板」を創ることです。そして看板を通して街づくりの「名脇役」として地域活動に参加していると思っています。街と調和しながらも生き生きとした存在感を持つ看板は、子どもたちの成長にもきっと良い影響を与えるに違いありません。お客様に信頼していただけること、人と人とのつながりが企業活動の原点です。これからも「あなたの会社に頼んでよかった！」と言っていたら嬉しいをめざして、「ささやかな一徳運動」に取り組んでいきます。

